

## 令和5年度第1回 岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

1 日 時 令和5年8月29日（火）10時00分～12時00分

2 場 所 岐阜市立女子短期大学 大会議室

3 出席者 （1）外部委員（1号委員）出席4名  
池田委員、石黒委員、臼井委員、馬場委員  
（2）学内委員（2号委員）出席3名  
畑中学長、服部副学長、大澤附属図書館長

4 次 第 （1）令和5年度新学科の紹介について  
（2）2023年度入学者選抜状況について  
（3）進学、就職状況について  
（4）広報活動について  
（5）最近の取組について  
（6）岐阜市立女子短期大学将来構想委員会について

### 5 委員の意見

#### ○意見1

志望理由について、学科改編によって「学びたい課程がある」が増加した半面、「公立だから」の割合が低下しているが、経済的に困窮している高校生の声は常に聞くため、授業料が安い等の公立の特徴は大切にしたい。

#### ○意見2

岐阜県教育ビジョン（ふるさと教育）の一環で本巣市では地域の課題解決を小中高で連携して行っている。既に課題を持っている岐阜県内の学校と連携を行うことで「岐阜学プログラム」のよいスタートを切ることができるのではないかと考える。

#### ○意見3

公立短大であることを生かして岐阜市の姉妹都市と連携をしていくとよい。

#### ○意見4

高校では3年生の7月の三者面談が1つのポイントであるが、1、2年生の秋から翌年の7月までにキャンパスを見ることを勧めているため、学生確保の新たなポイントとなっていくと考える。

#### ○意見5

特に人生経験豊富な同窓生との交流を強め、在学生に卒業後のロールモデルを示す取り組みをしてはどうか。健康栄養学科では、栄養士会の同窓生を頼るとよい。

#### ○意見6

ジョブ型雇用が進み、能力のある経験者の採用が増えているため、資格取得にも力を入れるとよい。